

久しぶりの修学旅行ガイド～ 7月14日「札幌市立南ヶ丘中学校」

ありがとう！幸せな時間でした

花田 陽子

修学旅行のガイドは2年ぶり、10年前の初ガイドの時にドキドキしてバスを待つ。バスから降りて来た中学生は元気くさわやかな生徒達に見えた。楽しくやれる予感がする。班のメンバー紹介後行程を話し、イヤホンの使い方を説明してスタート！となった時「聞こえませんか」「私のもです」「故障？」「全員です」。機械音痴の私はあわてて戸澤さんに助けを求めた。冷静な彼は「花田さん自分のスイッチ入れた？」と指摘。ギョッ！しまった、忘れてた。「こんなドジなガイドですみません。」とあやまってやっと出発。

石割桜と三ツ石神社では恒例の盛岡弁で伝説を語り、塩の道の石碑あたりでは特別に、南部牛追唄とおまけに馬の歌もとチャグチャグ馬コの唄を聞いてもらったりして、アツという間に1時間半が過ぎた。やさしい生徒達に恵まれて愉快で幸せな時間だった。美味しいお菓子もありがとう。感謝！感謝！！



熱が入りました

戸澤 真喜子

一ヶ月延期になりましたけどみんな“運持ってるよ”と思い乍ら当日を迎えました。二班到着前、先生から「ガイド何年なさってるんですか」と自信なさげに立っているのがお見通しだったかな。啄木と賢治については、少し知ってますとの事。クラスの殆んどがCコースなのにお城に興味を持って選んだと聞き時間が無いのを分かりつつ話に傾いてくれ熱が入ってしまいお土産選ぶ時間少なくしてごめんなさい。この状況下で行って良かったと思って貰えたら嬉しいです。

広報部会からのお知らせ

会員の皆様の協力を得て第104号(令和元年9月1日発行)から掲載してきました「コミュニケーションを大切に」をテーマとした会員インタビューは近々終了します。新シリーズ企画として、タイトル①「盛岡・私のお気に入り」と②「あんなこと、こんなこと」を掲載していきたいと広報部では検討しています。詳しくは例会でお知らせします。再度皆様の御協力をお願いします。 広報部会長 吉田幸市

「3密」ならぬ「3不安」の中で

佐々木 千香子

7月14日「まん延防止」解除直後の札幌市立南ヶ丘中学校のガイド ①2年ぶりの修学旅行に私の不安。②梅雨のない北海道から来て3日目、湿気大丈夫？ ③事前学習無し、買い物・買い食い可。1時間半のCコース色々ケーススタディをしました。

生徒からお土産をもらい元気な顔を見ていざ出発。「アイス食べた〜い！！」の希望に「ファミマでの休憩」を約束して一途に歩く。7人が7種のアイスをほおぼる姿に笑みがこぼれました。

その後上の橋迄目をキラキラ輝かせて説明を聞いてくれバスに乗り込む際「楽しかった！」の言葉と、ひじタッチに3不安が一気に解消しました。

「当たり前が当たり前で無い」今色々考えさせられた修学旅行ガイドでした。一日も早い終息を願います・・・



2年ぶりの札幌中学校修学旅行のガイド

大矢 正典

久々の修学旅行でガイド時間は約90分、Aコースアレンジでコース設定をしました。

コース詳細は省略しますが、ガイド後半で6班が赤レンガ館・青春館に集中することとなりました。が、トラベルイヤホンの威力で混乱なくガイド出来ました。

我がチームは時間短縮のため歴文館から毘沙門橋を渡り直接新渡戸稲造生誕の地へ向かいました。賢治の井戸清水では給水休憩としました。賢治清水の水を美味しくのむ生徒もいました。お城で時間を使ってしまい、後半の建物はピューでした。久々の修学旅行で緊張はしましたが、生徒の学びの気持ちから元気をもらいました。

編集後記 東北 DC のおもてなしガイドツアーの中断など、ガイド活動に意気の上まらない日々が続きます。しばらくは、充電の日々でしょうか。

そんな中、感染拡大の間隙をぬって札幌の中学生が来盛し、ガイドする機会がありました。2年ぶりの修学旅行ガイドの感想を4人の方々にお願ひしました。中学生から元気をもらった一日だったようです。 (曲谷地)